

井原市民病院まいづる連携だより

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1186 番地 井原市民病院内 地域医療連携室 TEL.0866-62-1133 連携室直通 FAX.0866-63-2840

第8回まいづる連携連絡会報告

第8回「まいづる連携」連絡会を平成27年1月19日(月)18:00~19:00井原市民病院、理学療法室で開催しました。今回のテーマは 福祉課 伊達課長補佐より「井原市の高齢化率と要援護実態調査からみる高齢者の暮らし」について、オシメ券・は一とふるカプセル・災害時非難行動要支援者への支援制度などについて具体的に説明をして頂きました。

災害時の非難行動についてはとても大事なことなのに知らなかったのではないでしょうか? いざという時に備えて実際稼動できるようになる仕組みづくりも必要であり、課題が見えたように 思います。皆様、寒い中ご参加くださいましてありがとうございました。



指定就労継続支援B型事業所「せいび夢空間」 おかしBOXの設置について 守安事務長さんより活動紹介をして頂きました。 ご協力よろしくお願いします。

情報交換

テーマ 「 高齢者が安心して暮らすためにどんなサービスがあればいいか 」

(配食サービスについて)

・配食サービスを受けられる地域、内容が限られている。また障害者も利用できる配食サービスが必要。

(福祉サービス・障害者支援)

- ・自立を目的とした、障害者の移動支援サービスがあればいいのではないか。
- ・介護タクシーでは利用目的が限られており、乗り合いタクシー等移送サービスの充足をしてほしい。
- ・福祉委員の協力も得ながら声掛けを再々行うなど、地域の見守りの目を育てていく必要がある。
- ・介護認定を受けていないがサロンを利用できない方に向けた訪問ボランティアがあればいいのではないか。
- ・山間部に住む住民は、買い物に困っている現状がある
- ・現行のサービスを減らさないでほしい。
- ・高齢者の話をゆっくりと聞いてくれるボランティアがあるとありがたい。
- ・介護力がない家でも福祉サービスが利用できるようにしてほしい。

(緊急時の対応)

- ・身寄りがない方の支援 (緊急時や受診の付き添い等) で困難を抱えている。
- ・民生委員にどこまで頼っていいのか、民生委員個人によっても対応がまちまちであり、
- ・緊急時の付き添い等は制度がひつようではないか。相談できる窓口がもっと身近なところにあれば いいのではないか。
- ・高齢者世帯の方が入院した時に、すぐに助けてくれるサービス

(福祉のしおりの周知)

・しおりは配布されているが、周知ができていないため充分に活用ができていないのではないか。 サービス等地域で出前講座のような PR が必要。

(ハートカプセルについて)

- Q1. どのような人を対象に配布しているのか?一人暮らしの世帯のみの配布か?
 - ⇒福祉課 伊達補佐より回答

市から井原市社会福祉協議会へ事業を委託している。配布対象は不明だが、社会福祉協議会へ依頼すればハートフルカプセルを貰うことはできる。

家族がいても、災害時など家族も対応ができないことも考えられるため、対象を高齢者へ配布してほしい。 こういったツールを記入してもらい、活用すべきではないか。 その場合、だれが記入や利用について声掛けしていくか。

- Q2.災害時非難行動要支援者登録プランについて、配布する世帯の条件はなにか?
 - ・災害マップの世帯の把握について、本来は返信が無い人を把握する必要があるのではないか? 理解が難しい人、文章を読む元気がない人は、返信が難しいと思われる。アンケートの回収方法 を工夫する必要がある。
 - ・元気な高齢者が活動できる場をつくってはどうか。ふるさと市場や NPO「トマト」のような、 退職した後の方々が気軽に集まる場所を地域ごとに作り、地域の活性化につなげてはどうか。
 - ・認知症のお年寄りのネットワーク

総評

現行の福祉サービスの継続や、そういったサービスでカバーができない部分の充実について話しあったグループが多かった。また、民生委員やボランティア等地域で支える枠組み作りも多く意見が出た。 今回話し合った内容は、まとめて高齢福祉課に報告し、今後の検討材料としてもらう。

事務局の連絡事項よび次回の連絡の案内について 🔷 📲 🕊 📲 📲 📲 📲 📲 📲 📲

- ①アンケートの回収について
- ②次回開催日程連絡

2/16 (月) 18:00~19:00

テーマ『第2弾 みんなで PR しよう!私たちの事業所・施設』 理学療法室にて開催予定 担当の三宅社会福祉士より発表予定の施設に向けて発表時間や資料提出方法等について説明を行う。